

「人と住宅にやさしい」安全・安心の防蟻・防湿工事

テックガード[®] 工法

(社)日本木材保存協会認定(C-4033)

シロアリ・カビ・腐朽から住宅を守り
丈夫で長持ちする住宅のために



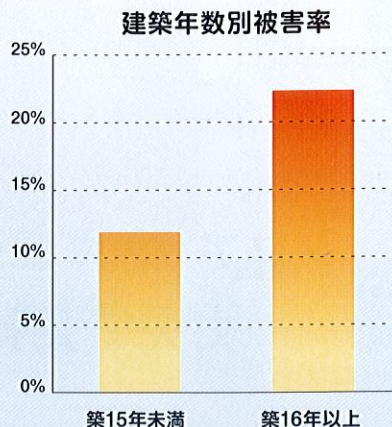
日本農薬株式会社

シロアリ、湿気から住まいを守

住宅のシロアリ被害について

シロアリが住宅にとって大敵であることは、皆さんもご存知の通りです。シロアリは、木材の内側だけを食害する為、目に付かないところでどんどん被害が進みます。防蟻工事をしていない物件ですと築16年以上で5軒に1軒の割合でシロアリの被害を受けています。

(社団法人日本シロアリ対策協会 平成13年度シロアリの被害実態調査報告書より)



住宅の湿気について

古来、日本の住宅は、通気性が良く、湿気がたまりにくい住宅でした。

現代の住宅は、断熱性を高める為に気密性を高めた事から、湿気が非常にたまりやすい建物となっています。また、床下は、コンクリートによる基礎で四方を囲まれている事から湿気がたまりやすくなっています。床下に防湿工事をしていない住宅ですと、土壌から湿気が上がり、床下の湿度が上昇します。

シロアリは、湿気の多い木材を好んで食害することから、床下の湿気を抑制する事で被害を受ける確率を減少させることができます。また、湿気を抑制する事で、カビの発生や木材が腐朽するのを抑制します。

テックガード®工法【施工】

1



床下整地前 床下の状況を調査します。

5



散布中 基礎と床下の間に隙間ができないよう散布します。

あなたの家の床下は大丈夫ですか？

ひとつでも気になる点があったら要注意！ お気軽に防蟻・防湿対策を御相談ください。

床下のシロアリ被害・湿気チェックポイント！

- ①基礎に割れ目があり、蟻道が見られる
- ②床や縁側を歩くとゆれる場所があったり、音が鳴ったりする
- ③庭の杭等にシロアリがついていたり、家屋の内外で羽蟻をみつけたりした
- ④シロアリ工事をしたことが無い、もしくはシロアリ工事をしてから5年以上経っている
- ⑤雨漏りしている部分があった
- ⑥住宅の密集地にあり、壁などで風通しが悪い
- ⑦田んぼや湿地を造成した土地である
- ⑧押入れがカビ臭い

シロアリの被害や腐朽の被害を受けても、すぐに住宅が倒壊する事はありません。しかしながら、地震や台風などの自然災害が発生したときに住宅の構造部材が災害に耐え切れず、倒壊する恐れがあります。



る！安心の防蟻・防湿工法

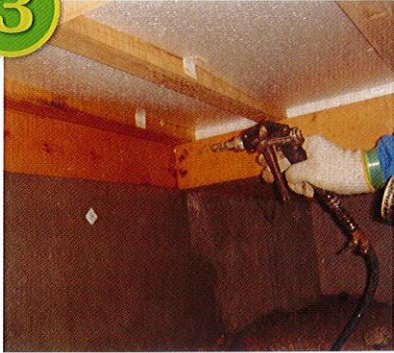
作業]

2



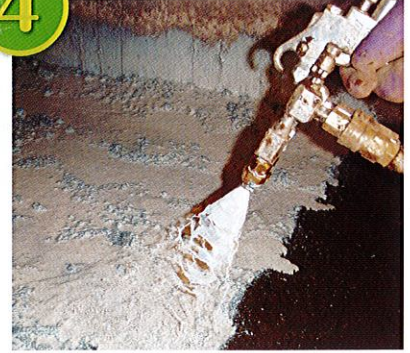
床下整地後 床下にある、石やゴミ等を撤去し整地します。

3



木部処理 木部に防腐・防蟻処理を行います。

4



散布風景 テクノガードを散布します。

6



施工直後 床下全体をテクノガード樹脂の皮膜で覆います。

7



施工1年半後 テクノガードポリマーが完全硬化しました。

※施工後、約2～3ヶ月で床下に潜れるようになります。

シロアリ・湿気から住宅を守る為に

床下から上がるシロアリと湿気から住宅をまもるために、テクノガード工法をご提案いたします。

特長1 床下から上がる湿気を大幅にカットし、快適な住環境を構築します。

特長2 床下の湿気を抑制する事で、カビや腐朽の発生を抑制します。

特長3 優れた防蟻効果でシロアリの侵入を防ぎます。

特長4 既築物件の場合、コンクリートを敷設するよりも安価に施工が可能です。

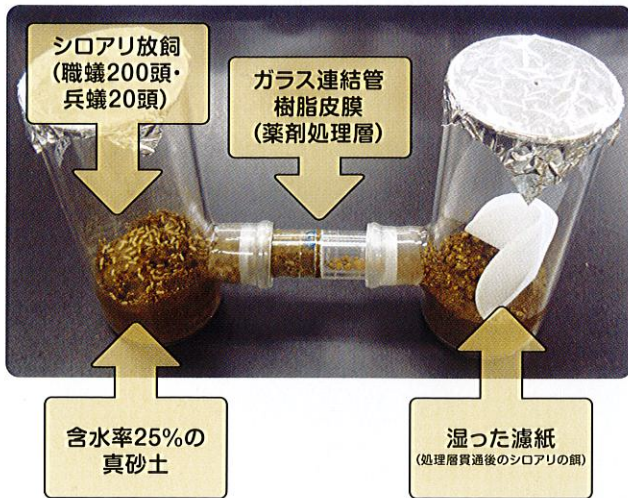
特長5 コンクリートと違って、大量の水を含みません。

特長6 5年後の防蟻再施工は従来通りの施工が可能です。



優れたシロアリへの効果

テクノガード工法に使われている防蟻剤は、優れた安全性と殺蟻効果を持ちシロアリから住宅を守ります。



硬化層	連制	貫通①	殺虫効果②	食害③
テクノガード 防蟻剤配合	A	○	○	○
	B	○	○	○
防蟻剤無添加	A	×	×	×
	B	×	×	×
無処理土壌	-	×	×	×

① ○:硬化層を貫通せず(侵入無し) ○:硬化層を貫通せず(侵入有り) ×:硬化層を貫通
 ② ○:100%死亡 ○:90~99%死亡 △:30~89%死亡 ×:死亡29%以下
 ③ ○:餌木食害なし ○:ナメリ程度 △:僅かに食害 ×:激しい食害

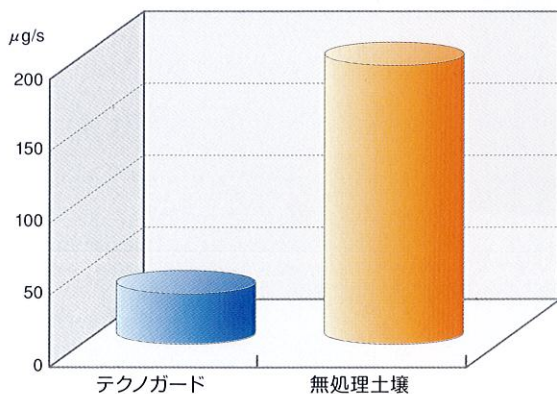
試験方法 (社)日本木材保存協会規格「土壌処理用防蟻剤等の防蟻効力試験方法及び性能基準(JWPA-TS-S)」に準拠。

優れた防湿性能

テクノガード工法は、財団法人建材試験センターにて防湿性能試験を実施しています。

何もしていない土壌と比較して透湿量を6分の1に抑制する事で、床下の湿気を大幅に抑えます。

硬化層の防湿性能 (財)建材試験センターの透湿量測定試験結果



本試験におけるテクノガード処理層の単位時間あたり透湿量は、無処理土壌を大きく下回った
 →防湿性能あり

人にやさしい安心の製剤

テクノガード工法の資材は、人やペットに対しても安全性が高くなっております。身近な化学物質と比べても毒性が低く、安全性の高い製品となっています。

	物質	LD50(mg/kg)	含まれる物質、用途
食品	ニコチン	24	タバコ
	カプサイシン	60-75	トウガラシ
	カフェイン	174-192	コーヒー、茶
	ソラニン	450	じゃがいも
	ビタミンC	11900	野菜、果物
防蟻剤	テクノガード防蟻剤	>2,000	殺虫剤
樹脂	テクノガード工法資材	>2,000	ポリマー、硬化剤

※農業工業会ホームページより参照

テクノガード工法の全ての資材において、厚生労働省が定めた、シックハウスの原因と考えられる室内濃度指針値設定13物質を一切使用しておりません。

室内濃度指針値(厚生労働省設定)13物質(シックハウスの原因と考えられる物質)

ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン
パラジクロロベンゼン	エチルベンゼン	スチレン
クロルピリホス	フタル酸ジ-n-ブチル	テトラデカン
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル		ダイアジノン
アセトアルデヒド	フェノフルカルブ	

お問い合わせ

株式会社 金剛

〒943-0828 新潟県上越市北本町3丁目8番34号
 TEL 025-520-8019
 FAX 025-520-8020



日本農薬株式会社 化学品本部 化学品部

〒104-8386

東京都中央区京橋1丁目19番8号 京橋OMビル
 TEL. 03(6361)1417 FAX. 03(6361)1454

ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>